

単元名 **みてみて あのね(絵)**配当時間 **5時間**

単元の目標 (1) 思いに合う形や色を見付け、工夫して絵に表すことができる。  
 (2) 経験したことや感じたことから、絵に表したいことを考えるとともに、友達の絵を見ながら、表し方の工夫を見付けることができる。  
 (3) 楽しかったことや好きなことなど、人に話したいことを、楽しく絵に表そうとする。

## 標準的な展開例

01080304\_001

【準備等】画用紙、色画用紙、共同絵の具、クレヨン、パス、サインペン など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 楽しかったことや驚いたことを思い出して、絵に表すことを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の参考作品を見て、気付いたことを発表する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>水鉄砲で遊んでいるね。</li> <li>楽しそうだね。顔に水がかかって気持ちよかったからかいたのかな。</li> <li>くじ引き、全部外れているよ。</li> <li>ぼくたちも玉入れしたよね。</li> <li>お風呂気持ちよさそうだね。</li> </ul> </li> <li>最近の出来事から、見たり楽しかったりしたことを思い出し、発表する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかったこと…遠足、遊園地、買い物</li> <li>ドキドキしたこと…プール、運動会</li> <li>かわいいな…カタツムリ、ハムスター、ウサギ</li> </ul> </li> </ul> <p>★生活の中で思い出に残ったことを絵に表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表したい場面を決める。</li> <li>人や物を画面のどこにかくか、どれくらいの大きさでかくか、およその位置を決めて、下絵をかく。           <ul style="list-style-type: none"> <li>中心になる人や物</li> <li>周りの様子</li> </ul> </li> </ul> <p>2～5 自分がしたことや見たことなど、人に話したいことを絵で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな描画材料を使って、お話ししたいことを、そのときの様子や気持ちも伝わるように工夫して絵に表す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>運動会で玉入れをしたよ。</li> <li>水鉄砲か水がものすごい勢いで出てきたよ。絵の具でかくと水がビューっと出ている感じになるんじゃないかな。</li> <li>お風呂から湯気がでてきたよ。</li> <li>ウサギに触ったよ。ふわふわしていて気持ちよかったよ。</li> </ul> </li> <li>作品カードを書く。           <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の題 (テーマ)</li> <li>表したかった気持ち</li> </ul> </li> <li>友達の作品を見て、感じたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 1・2年上 P.20, 21</li> <li>登場人物の表情や動きの違いに気付かせる。</li> <li>隣同士で聞き合うことで、絵に表して話したいことを見付けられるようにする。</li> <li>漠然としたテーマではなく、具体的ではっきりした場面になるように助言する。</li> <li>いろいろな大きさの画用紙や色画用紙を用意して、選択させる。</li> <li>表したいことの中心となるものが、画面の中心にくるよう指導する。</li> </ul> <p>【評】思い出に残っていることを話し合う活動を通して、日常生活の中からかき表したい場面を思い付く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そのときの気持ちが表せるような、好きな描画材料を使って、様子を工夫してかかせる。</li> <li>自然な鑑賞が生まれるように、4人1組で向かい合わせにするなど、座席を工夫する。</li> <li>普段の生活の中でみんなに話したい出来事について、そのときの様子や気持ち、驚いたことや発見したことなど、具体的な視点を添えて思いを巡らせるよう勧め、思い出しながらかくように促す。</li> <li>付箋などを利用し、授業と授業の間も鑑賞が進むようにしてもよい。</li> </ul> <p>【評】作品を通して、伝えたい気持ちが表せるように、形や色を工夫してかく「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品カードは、鑑賞をするときの参考にさせる。</li> <li>題名に着目させて鑑賞することで、見方や感じ方が広がるようにする。</li> <li>作品を見て、友達の表したかったことや気持ちを考えさせる。</li> </ul> <p>【評】自分たちや友達の作品を見る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】これまでの学習活動や作品を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

## 【備 考】

特別な教科道徳との関連について

Cー(16)「他国の人々や文化に親しむこと。」との関連が深い。紙面にある「外国の友だちの絵」を活用したい。

## 他教科との関連

生活科における学校探検や動植物のとの触れ合いなどを関連させ、児童がかきたいものを見付けさせてもよい。